

合言葉は「フシギがれ!」

# 新科学館 **スペースLABO**

KITAKYUSHU CITY SCIENCE MUSEUM

4月28日(木)  
開館



子ども家庭局青少年課  
新科学館担当課長 柳井 雅也さん

新しい科学館「スペースLABO」が、開館します。「不思議」と思う気持ちは、「科学」の入口。子どもから大人まで、幅広い世代が楽しめるスペースLABOには、「科学」を体験・体感することのできる、さまざまな展示があります。理論や法則は抜きにして、まずは不思議がってください。そして、楽しんでください。

「スペースLABO」は、公募から選ばれた候補作品3点の中から、市内の小・中・特別支援学校の児童生徒の投票で決定した、科学館の愛称です。「スペース」は、新科学館の目玉となるプラネタリウムとつながる「宇宙」やスペースワールドの跡地であることを意味。実験室を意味する「LABO」と組み合わせ、体験・体感する場所(スペース)であることを表現しています。

## 見どころ

### 3階 世界最高峰のプラネタリウム



イメージです。

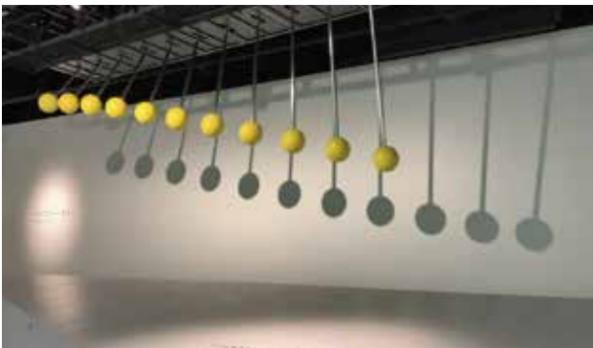
国内最大級の30mのドームに、世界最高性能の投射機器と、最新のデジタル技術を駆使して、地球上のあらゆる場所で見られる星空を360度で完全再現します。座席の間隔は、旅客機ファーストクラス並みのゆとりを確保。家族やカップル向けのペアシートや、大きくリクライニング(後ろに倒すことが)できるデラックスシートもあります。



#### スペースラウンジ

月の石やアポロ司令船など、スペースワールドの宇宙博物館から引き継いだ貴重な資料を展示。

### 2階 サイエンス LABO 多様な見方で科学の現象を観察



2階は、科学の現象をさまざまな角度から観察できるフロアです。「見て」「触れて」「体験する」楽しさを通じて、「フシギがる」気持ちを引き出します。

#### 「旧・科学館」人気トップ3を展示

昨年閉館した「児童文化科学館」の展示の中から、小学生のアンケートをもとに選ばれた人気上位の3点。子どもたちに愛された同館の思い出も引き継いでいます。



#### ウインドシミュレーター

さまざまな強さの風に吹かれ、風の力と恐ろしさを体感。



#### ルパンウォーク

赤外線センサーを通じて、見えない光の不思議を考察。



#### 不思議な鏡

歪んだ鏡に映る自分の姿から、光の反射の不思議を観察。

### 1階 サイエンス LABO 「ミスター・トルネード」藤田哲也博士 国内最大の大型竜巻発生装置



小倉南区出身で、「ミスター・トルネード」と呼ばれた、気象学の世界的権威・藤田哲也博士の功績について紹介しています。また、国内最大となる高さ10mの大型竜巻発生装置を展示しています。



「北九州市と科学」をテーマにした展示を通して、「ものづくりのまち」ならではの、高度な技術や研究成果などに触れることができます。